

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
道德教育論 The Theory of Moral Education		1年・2年	後期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択	(教職課程必修 (中学校教諭2種(外国語)・栄養教諭))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
教職関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
松崎勇人	本館2階	月曜の3から4時限、 火曜の3から5時限	授業中に指示します	
授業の概要				
道德性とは何なのか、道德性を養うとはどのようなことを意味するのか。道德の時間を中心として学校教育全体で道德性を養うために、どのようにしたらいいのかについて考える。				
授業の到達目標				
①道德の意味が理解できるようにする。 ②道德性の育成の意味が理解できるようにする。 ③学校教育全体での道德の指導法が理解できるようにする。 ④道德の時間の指導法が理解できるようにする。				
授業の方法				
道德教育に関するテーマについて討論することを取り入れる。板書を中心とした講義形式でそれらを補う。道德の指導法について自ら考え、構想する機会を持つ。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは、 ①道德の意味が理解できる。 ②道德性の育成の意味が理解できる。 ③学校教育全体での道德の指導法が理解できる。 ④道德の時間の指導法が理解できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	道德、道德教育と聞いて思いつくことは？			
第3回目	中学校「道德」改訂の基本方針 (概観)			
第4回目	中学校「道德」改訂の基本方針 (詳説)			
第5回目	中学校「道德」の目標			
第6回目	中学校「道德」内容の解説 (自分自身に関すること)			

第7回目	中学校「道德」内容の解説 (他の人とのかかわりに関すること)		
第8回目	中学校「道德」内容の解説 (自然や崇高なもののかかわりに関すること)		
第9回目	中学校「道德」内容の解説 (集団や社会とのかかわりに関すること)		
第10回目	中学校「道德」の指導計画の作成と内容の取扱い		
第11回目	指導案の作り方		
第12回目	道德教育の方法と評価		
第13回目	代表的道德教育論 (デューイ)		
第14回目	代表的道德教育論 (コールバーグ等)		
第15回目	まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に的確に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられること等である。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		70%	道德の時間の指導案を作って提出する。最高水準としては、選択したテーマについて深く考えた上で、評価方法を含む指導計画を綿密に立てていること、オリジナルな発想があること等を評価基準とする。
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：「中学校学習指導要領 解説―道德編―」文部科学省。			
履修上の心得・ルール			
休まないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。積極的に質問することを望む。			